資料１－１①

１　第１松風園

Ⅰ．利用児支援

１．入園の状況について

令和５年度入園より週５日通園を基本としています。定員 30 名に対しては引き続き定員緩和措置により、週５日換算で 36.6 名としてスタートしました。令和７年度は 21 名の入園申込みがあり、その内 20 名を新入園児として迎え、37 名の在籍となりました。内２名については、週２日、週３日の利用児となりました。10 月に１名が入所から自宅に戻り通園を再開したため週５日換算で 37 名（在籍 38 名）、１月中旬に年少児１名が母の出産で帰国し年度途中に退園したため、週５日換算で 36 名（在籍 37 名）となりました。

（１）在園児の状況

定員	在籍者
30 名	37 名

（２）年齢別状況

2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
0名	5名	13 名	19 名	37 名

（３）入退園の状況

①入園の状況

	2歳児	3歳児	4 歳児	5歳児	合計
4月1日		5名	9名	6 名	20 名
10 月1日				1名	1名

②退園の状況

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
1 月 17 日		1 名			1名
3 月 31 日				19 名	19 名

（令和８年３月 31 日現在）

（４）開園日について

令和６年度と同様の 235 日開園しています。

２．利用状況について

開所日数は 235 日、延べ利用児総数は 7,312 名となり令和６年度比で 106 名の減となりました。利用率は利用人員でみると 84.5%となり令和６年度比 1.2%の減となりました。

（１）利用状況について

過去５年間の推移は次のとおりです。（令和７年度から指定管理第５期）

	開所日数	前年度比	延開所日数	前年度比	延利用人数	前年度比	利用率	３０人定員
令和７年度	235 日	0 日	8650 日	237 日	7312 名	-106 名	84.5%	103.7%
令和６年度	235 日	-2 日	8413 日	-311 日	7418 名	168 名	88.2%	105.2%
令和５年度	237 日	3 日	8724 日	355 日	7250 名	- 78 名	83.1%	102.0%
令和４年度	234 日	1 日	8369 日	-19 日	7328 名	-259 名	87.6%	104.4%
令和３年度	233 日	0 日	8388 日	0 日	7587 名	19 名	90.5%	108.5%

（２）卒園児などの状況

令和７年度の年長児 19 名の卒園児の進路は支援学校２校に９名、市内小学校８校の特別支援学級に 10 名が就学しました。

１年生になった令和６年度の卒園児については個々の特性を理解しこれまで行ってきた支援を積み重ねていただけるよう、地域の特別支援学級に入学したお子さんへの移行支援を教育委員会（大和市特別支援教育センター　アンダンテ）と協働し実施しました。

O

O

3. 行事について

利用児については、日常の取り組みを大切にし、個々の強みを生かした支援を行い、将来の自立のためにスモールステップでできることを増やしてきました。また、積み重ねた日頃の支援を活かしてさまざまな行事に参加しました。きょうだい児については利用児の園での取り組みや園生活の様子を知ることで、家族の一員として、大切でかけがえのない存在であることを改めて確認できる場になることを願い、利用児と一緒に参加できる行事（あそぼう会・映画観賞会）を(土)に実施しました。

月	日	行　事　名	場　　所	園児数	保護者	きょうだい
7	19	あそぼう会	園内	23名	36名	18名
10	21	秋の遠足＜電車＞（メロン・バナナ）	相模大野中央公園	11名	11名	0名
10	23	秋の遠足＜電車＞（みかん・りんご）	相模大野中央公園	14名	14名	0名
10	24	秋の遠足＜電車＞（いちご）※雨天中止	相模大野中央公園	0名	0名	0名
11	8	映画観賞会	イオン座間	21名	33名	14名
12	10	うんどうあそび発表会（いちご）	園内	6名	11名	1名
12	11	うんどうあそび発表会（りんご）	園内	6名	8名	1名
12	15	うんどうあそび発表会（メロン）	園内	6名	12名	0名
12	16	うんどうあそび発表会（みかん）	園内	7名	13名	3名
12	17	うんどうあそび発表会（バナナ）	園内	5名	8名	2名
12	24	クリスマス会	園内	33名	6名	0名
3	10	春の遠足＜通園バス＞（メロン・みかん）※雨天中止	相模原麻溝公園	0名	0名	0名
3	12	春の遠足＜通園バス＞（りんご・バナナ）	相模原麻溝公園	12名	14名	0名
3	13	春の遠足＜通園バス＞（いちご）	相模原麻溝公園	7名	7名	0名
3	26	卒園式・修了のつどい	園内	35名	34名	12名

4. 事故報告について

令和７年度は事故報告９件、ヒヤリハット 504 件の報告があがっており、令和６年度より事故報告は４件増、ヒヤリハットは 191 件増となっています。事故報告の内容は交通事故１件（被害者職員は外出先から帰園途中に追突された)、眼球炎症１件（職員が負ったもの。労災該当）食事提供１件、咬傷２件、所在不明２件、打撲２件となりました。所在不明２件については、1.避難訓練終了後、クラスに移動している途中で利用児１名がはぐれ、すぐに玄関のクリスマスツリーを触っていたところを発見されました。2．登園時、玄関で目を離したときに利用児１名の姿が見えなくなり、周りにいた職員に声をかけるとすぐに近くにある大人用の男子トイレにいるところを発見されました。

（1）ヒヤリハットは、令和６年度同様日々の療育のなかで職員が見落とさないよう意識し集めていますが、今後も大きな事故を未然に防ぐことができるよう気づきの意識を高めていきたいと思います。

件数	内訳						
	交通事故（被害者職員）	眼球炎症（労災）	食事提供	咬傷（労災）	所在不明	打撲（労災）	ヒヤリハット
9件	1件	1件	1件	2件	2件	2件	504件

※ヒヤリハットには、軽微な事故（報告別紙分）も含む。（ヒヤリハット 392 件、事故別紙 112 件）
内訳は：確認ミス、外傷、怪我の恐れ

（2）ニコリホット

利用児をはじめ、職員の行動にも目を向け「笑顔」「できること」「ほのぼのしたエピソード」など、ポジティブな瞬間を記録しました。1,319 件の報告となり、令和６年度（５月から実施）より 583 件増になりました。

５．虐待報告について

虐待報告は１件、令和６年度より２件減となりました。家族による家庭での身体的虐待及び心理的虐待の疑いの報告となりました。

6. 苦情受付について

苦情受付は２件、令和６年度より１件減となりました。

①衛生面（ケアの内容に関わる事項）

家族からクラスにハンドソープが置かれていないとの手紙をいただき、すぐにハンドソープを設置し対応しました。

②個人情報の取り扱い

退職した職員が在籍中に知り得た個人情報を卒園児のご家族に伝えているという話を聞いたことがあるとの電話がありました（匿名希望）。当該事象の事実確認や当該退職職員の特定には至りませんでしたが、現在の職員に退職後も守秘義務が続くことを周知徹底しました。

Ⅱ．利用児支援の内容

1. 機能訓練等について（専門職の支援）

（１）臨床心理士による支援

臨床心理士を配置し、発達検査や発達相談などの個別対応を延べ 37 名に実施し、家族支援として我が子への理解や障がいの理解を深める機会としました。また、個々の利用児の行動観察を通しクラスコンサルを 45 回実施し、利用児支援の充実を図ることができました。スタッフ間の連携を図り、チームとして支援ができるようケース会議や振り返りの場を定期的に設け、具体的な支援の方法について確認しました。

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
支援日数	0日	5日	6日	5日	4日	7日	8日	6日	4日	8日	4日	5日	62日
発達検査人数	0名	2名	4名	1名	2名	3名	3名	2名	1名	3名	2名	2名	25名
フィードバック人数	0名	2名	2名	3名	2名	2名	4名	2名	1名	2名	2名	3名	25名
発達相談人数	0名	1名	0名	1名	0名	2名	1名	2名	2名	3名	0名	0名	12名
クラスコンサル回数	3回	5回	4回	4回	2回	5回	5回	4回	3回	6回	2回	2回	45回

（２）理学療法士による支援

理学療法士を配置し、機能訓練が必要な利用児（肢体不自由児、安定した姿勢の持続が難しい利用児など）に対する個別支援を保護者同伴のもと、延べ 112 名に実施しました。また、利用児全員の運動発達に対する支援をクラス担任同伴のもと、年間延べ 467 名に実施しました。必要に応じて、摂食時の姿勢や具体的な支援方法について確認しました。スタッフ間の連携を図り、チームとして支援ができるよう支援方針検討会議や振り返りの場を定期的に設け、具体的な支援の方法について確認しました。

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援日数	12日	11日	15日	14日	11日	11日	14日	15日	14日	12日	11日	13日	153日
個別支援対象実数	8名	8名	8名	8名	8名	8名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	108名
個別支援延べ人数	4名	8名	9名	11名	9名	10名	14名	13名	7名	8名	8名	11名	112名
グループ支援人数	58名	38名	26名	41名	36名	42名	42名	39名	30名	40名	38名	37名	467名

（３）作業療法士による支援

作業療法士を配置し、利用児全員の日常生活を支える身体の使い方や制作活動をとおした道具の使い方などに対する支援を各クラス活動において、延べ355名に実施しました。理学療法と同様に、スタッフ間の連携を図り、チームとして支援ができるよう支援方針検討会議や振り返りの場を定期的に設け、具体的な支援方法について確認しました。また、作業療法士を講師とし職員対象に食具の補助具についての研修を２回実施しました。

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
支援日数	5日	5日	5日	3日	5日	5日	5日	4日	5日	5日	5日	5日	57日
グループ支援人数	28名	34名	30名	18名	31名	32名	33名	27名	34名	29名	33名	26名	355名

（４）言語聴覚士による支援

令和７年度より言語聴覚士を配置し、コミュニケーション（発語）や嚥下、咀嚼などの課題について、個別支援を延べ21名、個別相談を延べ32名に実施しました。また、言語聴覚士を講師とし職員対象に言語聴覚士の活用についての研修を実施しました。

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
支援日数	2日	2日	2日	2日	2日	2日	2日	2日	2日	0日	2日	2日	22日
個別支援対象実数	0名	0名	4名	6名	3名	2名	1名	1名	3名	1名	1名	1名	23名
個別支援延べ人数	0名	0名	4名	6名	3名	2名	1名	1名	3名	0名	1名	0名	21名
グループ支援人数	14名	13名	5名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	32名
個別相談人数	0名	0名	0名	2名	4名	6名	5名	4名	4名	0名	3名	4名	32名

（５）音楽療法士による支援

音楽療法士を配置し、各クラス年間12回、音楽療法を実施しました。また、音楽療法についての理解を深めるための説明会を、音楽療法士を講師とし家族対象と職員対象の２回に分けて実施しました。

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
支援日数	1日	3日	3日	3日	2日	2日	4日	3日	2日	3日	2日	2日	30日
支援クラス数	2	6	6	6	4	4	8	6	4	6	4	4	60

2. 健康管理について

内科、歯科、耳鼻科、眼科、精神科、整形外科の６つの診療科目の検診及び尿検査を行いました。検診にあたり「松ちゃん人形」を活用し、利用児が検診の方法や手順を事前に確認し安心して検診できるように支援しました。家族とは検診カードなどで健康状態や検診結果の確認をしました。また、常時看護師を配置して連絡帳での日々の健康状態についての確認や毎朝の視診、毎月行う身体測定などで、管理栄養士と連携し健康管理に努めました。

3. 保護者との連携について

（１）親子通園日

新入園児は週１日、在園２年目以降は月２日の親子通園を行い、わが子についての共通理解を図り、関わり方などを一緒に考える機会として実施しました。

（２）家族支援プログラム

家庭での支援が最も大切だと考え、こどもの強みを活かした関わり方を一緒に考え、「家族が自信を持って子育てに向き合えるように」「家族がこどものことを自信を持って説明できるように」を目指して個人面談年３回、おうち支援（家庭訪問）年２回の他、以下の内容に取り組みました。

【懇談会等】

内容	年間実施回数（日数）	合計参加人数
家族会（月１回）	年 12 回（13 日）	284 名
クラス懇談会	各クラス年２回（10 日）	46 名
教材づくり	年２回（４日）	26 名
先輩ママのお話を聞く会	年１回（３日）	18 名
おしゃべり相談会	各クラス年１回（５日）	20 名
先輩パパのお話を聞く会	年１回（１日）	13 名
父親参観日	年１回（１日）	13 名
勉強会等	年 15 回（18 日）	64 名
家族参観週間（祖父母等）	年１回（10 日）	28 名
引き渡し訓練	年１回（１日）	37 名

【説明会等】

内容	年間実施回数（日数）	合計参加人数
通園のしおり説明会	年１回（２日）	30 名
音楽療法説明会（新入園児）	年１回（１日）	14 名
大和市特別支援教育就学説明会	年１回（１日）	16 名
給食試食会	年２回（２日）	22 名

【施設見学】

内容	年間実施回数（日数）	合計参加人数
瀬谷支援学校小学部学校説明会（年長）	年１回（３日）	10 名
瀬谷支援学校小学部学校説明会(年中・年少)	年１回（２日）	11 名
三ツ境支援学校小学部学校説明会	年１回（２日）	２名

4. 地域支援事業

【児童発達支援センター】児童福祉法第 43 条を踏まえ、地域における障害児やその家族への支援の中核的役割を担う機関として、４つの機能に取り組みました。

【中核機能①幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能】

保育士、児童指導員、看護師、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、音楽療法士、管理栄養士、調理師などの専門職を配置し、より高度な専門性に基づく支援に取り組みました。

【中核機能②地域の障害児通所支援事業所に対する スーパーバイズ・コンサルテーション機能】

対象事業所の従事職員の専門性の向上を図るために、人財養成や関係機関のネットワーク構築等に取り組みました。

（１）自閉症療育講座（人財養成）（中核①②③共通）

自閉症などの発達障がいについて、講義と演習を通し、ひとりひとりのお子さんを理解し、具体的な対応・個性や才能の伸ばし方など、一緒に学ぶ機会として実施しました。

実施日		内容	講師	申し込み	当日参加者
６月	10 日	人とちがっていいんだよ　その１（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	136 名	29 名
７月	８日	こどもを伸ばす環境・関わり方とは…1（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	142 名	22 名
９月	９日	今日から始める自立的生活（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	116 名	25 名
10 月	７日	確かなコミュニケーションを育てよう！（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	118 名	17 名
11 月	11 日	遊び・社会性を育てよう（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	110 名	20 名
12 月	９日	人とちがっていいんだよ　その２（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	94 名	21 名
１月	20 日	「困った！？」行動を考えよう（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	102 名	16 名

（２）地域生活支援公開講座（人財養成）〈中核①②③共通〉

さまざまな障がいのある方たちが、より豊かで充実した地域生活を送ることができるように、地域全体で理解と支援を深めていくことを目的とし実施しました。

実施日		内容	講師	申し込み	当日参加者
5月	13日	「ひとりでできる」を育てる（オンライン、ライブ映像、見逃し配信）	心理士	45名	17名
11月	20日	「発達障害のある子どもの自律のための種まき」（対面）	他法人職員	57名	47名
12月	1日	「こどもとよりよい関係を築く～ペアレントトレーニングについて～」（対面）	ぴこっと所長	29名	26名
1月	13～15日	みんなで一緒に相談ファイル「かけはし」を作ろう！（対面）	第１松風園園長	32名	28名
2月	13日	注意欠如・多動性障害（ADHD）の基礎から薬物療法まで	小児科医師	64名	22名

（３）第１松風園見学会（人財養成）

ご希望により実際に見学していただく機会を個々に７回設け、合計17名の参加がありました。

（４）大和市児童発達支援事業所連絡会（関係機関のネットワーク構築）

大和市内にある児童発達支援事業所同士の横のつながりを作ることで、大和市内の乳幼児期における「療育・発達支援」の在り方について情報共有、意見交換等をし、支援の質を向上していくことを目指し、年間６回連絡会を実施し合計119名の参加がありました。

（５）大和市発達支援連携連絡会（関係機関のネットワーク構築）

地域の関係機関との連携の場として位置づけ年３回主催し、対面で合計 41 名の参加がありました。大和市児童発達支援事業所連絡会、大和市放課後等デイサービス事業所連絡会、大和市児童相談支援事業所連絡会の取り組みの報告をしています。その中で出てきた地域全体の課題について必要に応じて検討しています。出席者は３つの連絡会、大和市青少年相談室、大和市教育委員会指導室 、瀬谷支援学校連携支援グループ、三ツ境支援学校連携支援グループ、横浜ひなたやま支援学校連携支援グループ、大和市障害者自立支援センター、サポートセンター花音、大和市こども青少年みらい課、大和市すくすく子育て課発達支援係、相談支援センター松風園、児童発達支援センター第１松風園となっています。

（６）講師等（人財養成）

依頼を受けて講師などを延べ23名派遣しました。

（７）連絡会や会議などの参加（関係機関のネットワーク構築）

外部との連絡会の開催や会議等に延べ44名参加しました。

【中核機能③地域のインクルージョン推進の中核機能】

臨床心理士等が保育所等訪問支援や障害児支援に関する研修等を行いました。また、交流保育等も実施しました。

（１）保育所等訪問支援

保育所等へ通所する利用児が、保育所等における集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に、保護者の依頼を受けて、保育所等を安定して利用ができるよう集団生活への適応のための専門的な支援等のサービスを提供しました。

（２）自閉症療育講座　※中核機能②参照

（３）地域生活支援公開講座　※中核機能②参照

（４）第１松風園見学会

ご希望により実際に見学していただく機会を個々に 22 回設け、合計 38 名の参加がありました。保育所等の困り感を一緒に考え、情報共有をしました。

（５）ボランティアの受け入れ

インクルージョン推進の観点から、ボランティア（保育延べ８名、音楽療法延べ 90 名、松風園まつり延べ 59 名）を受け入れ、障害のあるこどもの理解に繋がるよう取り組みました。

（６）交流保育

障がいのあるこどもの社会性・コミュニケーション能力の向上と、地域全体でのインクルージョンの推進を目的として、近隣の保育園２園にご協力いただき交流保育を実施しました。若葉保育園とのなかよし交流は２回実施し 11 組が保育園にあそびに行きました。若草保育園とのひまわり交流は 10 回実施し３～５歳児延べ 120 名が松風園に来園し、松風園利用児と園庭で場の共有をしあそぶことができました。

（７）講師など

依頼を受けて講師など４名を派遣しました。

（８）特別支援保育研究会との関わり

大和市こども部ほいく課と保育園の職員が中心に行っている会と連携を図ることができ、勉強会の講師等を行いました。

（９）地域の小学校　特別支援学級へのフォローアップ訪問（移行支援）

令和６年度卒園児 20 名のうち、特別支援学級に就学した９名（７校）について、個々の特性を理解しこれまで行ってきた支援を積み重ねていただけるよう、移行支援（フォローアップ訪問）を教育委員会（特別支援教育センター　アンダンテ）と協働し実施しました。

【中核機能④地域の発達支援に関する入口としての相談機能】

相談支援専門員等が、大和市と連携し、発達障がい、貧困、虐待等問題が複雑化しているハイリスクなこどもと家族への入口の相談や支援等を 29 件行いました。

5. まとめ

中核機能①については、念願だった言語聴覚士を配置することができ、より高度な専門性に基づく支援体制を整えることができました。保育士等については、新規採用職員を７名、育児休暇明けの職員を２名、異動職員を１名迎え、新たな環境でのスタートとなりました。１年間、職員一同力を合わせて取り組み、３月のクラス懇談会ではご家族より第１松風園を利用し満足しているとの声をいただくことができ、大きな事故もなく令和７年度を終えることができました。経験のある職員の OJT の効果であると実感しています。

中核機能②③については、法人内の児童部門職員全体で役割分担をし、中核機能④については、法人内の相談支援事業所と連携し実施することができました。

令和８年度も、児童発達支援センターの取り組みについて、大和市との協議を続け、地域のために活躍していきたいと思います。また、中核機能を担うことのできる人財が限られていることから、法人児童部門全体の人財育成についても力を入れていきたいと思います。

２　第２松風園

Ⅰ．利用者支援

1. 利用者状況について

指定生活介護事業所「第２松風園」の令和７年度の事業は支援学校からの卒業生２名を迎え在籍 57 名でスタートしました。７月に障害者支援施設へ入所が決まった利用者がおり退所したため、年度末在籍は 56 名となりました。

年間の利用実績は、令和６年度とほぼ同様に土曜開園日を維持し 265 日としています。

（1）在園者の状況

定員	在籍者
45 名	56 名

（2）障害支援区分の状況・重度障害者支援加算対象者の状況

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合　計
	0 名	0 名	1 名	10 名	22 名	23 名	56 名
	0%	0%	2%	18%	39%	41%	100%
重度加算対象者	0 名	0 名	0 名	1 名	14 名	21 名	36 名
	0%	0%	0%	3%	39%	58%	100%

平均支援区分
5.2

（3）入退所の状況

①入所の状況

	障害支援区分	人数
4 月 1 日	4	1 名
4 月 1 日	5	1 名

②退所の状況

	障害支援区分	人数
6月 30 日	4	1 名

（令和８年３月 31 日現在）

（4）開園日について

① 利用日数が上限日数を超える月の土曜日を除いて、土曜日の開園を実施し、祝日の影響もあり、開園日は 265 日予定しました。

② 土曜日の開園は、年間延べ 25 日、延べ利用数は 938 名となっています。

③ 土曜日の平均は 37.5 名で 83.3%の利用率となっています。

（5）利用状況について

指定生活介護事業所「第２松風園」の令和６年度の事業は支援学校からの卒業生２名を迎え在籍 57 名でスタートしました。７月に障害者支援施設へ入所が決まった利用者がおり、退所したため年度末在籍は 56 名となっています。

年間の利用実績は、令和６年度とほぼ同様に土曜開園日を維持し 265 日としています。

延べ利用人数は令和６年度と比べ 157 名の増で利用率は 84.3%、総利用人数は 12,547 名となりました。令和７年度は、インフルエンザ感染症は感染者が数名出ましたが、重症化することなく皆５日の療養を明けています。

令和６年度のグループ体制は引き続き４グループ体制として、各グループが 13 名から 15 名の小グループで活動ができる支援環境を整えました。

公用車での送迎は、需要が高まる課題に対し、午前は５便、午後は４便で対応しました。希望が重なる曜日でのキャンセル待ちは殆どない状況となっています。

過去５年間の推移は次のとおりです。（令和７年度から指定管理第５期）

区分	開所日数	前年度比	延開所日数	前年度比	延利用人数	前年度比	利用率	45名定員
令和7年度	265 日	0	14884 日	309 日	12547 名	157 名	84.3%	105.2%
令和6年度	265 日	0	14575 日	147 日	12390 名	223 名	85.0%	103.9%
令和5年度	265 日	0	14428 日	-228 日	12167 名	-1012 名	84.3%	102.0%
令和4年度	265 日	2	14656 日	1357 日	13179 名	889 名	89.9%	110.5%
令和3年度	263 日	▲2	13299 日	-2422 日	12290 名	32 名	92.4%	103.8%

２．行事について

（１）日帰り旅行

令和７年度の日帰り旅行は、各グループ１回ずつ実行しています。

令和７年度は日帰り旅行の実施のしかたを検討し、各グループ日帰り旅行週間を設け、雨でも晴でも旅行に行ける計画を立てました。山下公園散策、江の島水族館、高尾山、茅ヶ崎柳島海岸散策に出かけています。天気にも恵まれ、全日晴プログラムで実施できました。

今後も、利用者にとって思い出深い外出行事ができるような企画を模索し続けていきたいと考えています。

（２）ボランティア

令和７年度もボランティアの方々に土曜開園日に実施していただく予定でしたが、感染症の影響により中止となりました

（３）成人を祝う会「Ｈａｐｐｙ20ｔｈ」

令和７年度の成人を祝う会も、感染症の状況を見ながらの実施を検討し、事業所内の屋内訓練室を使用して少人数で短時間での式典、ご本人の好きなアーティストの音楽を流しみんなで歌ったり踊ったりし、お祝いをしました。令和７年度は３名の利用者が対象となりました。

令和４年度から 18 歳が成人となっていますが、松風園では 20 歳を祝う会「Happy20th」として会を開催しています

利用者やご家族にとってよい思い出になるよう、準備をしていきます。

（４）赤い羽根共同募金運動・年末たすけあい募金運動協力

令和７年度も 10 月の赤い羽根共同募金運動と 12 月の年末たすけあい募金運動を行いました。利用者も参加をし、鶴間駅前で街頭募金を行っています。各利用者大きな声で募金を呼びかけることができていました。

社会経験の拡大と地域交流を目的に、今後も継続していきたいと思います。

（５）地域交流（ボランティア活動）

令和７年度も毎月１回第３水曜日に近隣にある特別養護老人ホームサンホーム鶴間へ利用者と職員でお伺いし、タオル、エプロンたたみなどのお手伝いをしながら高齢者の皆さんとの交流をさせていただく予定でしたが、感染症などの影響により中止となりました。

利用者によるボランティア活動を通して、利用者の社会参加、経験の拡大、地域高齢者との交流の場となっており、今後も地域交流としての活動を再開できるように準備をしていき、利用者のやり甲斐、生き甲斐につなげていきたいと考えています。

（６）鶴間地区民生委員児童委員協議会主催「ふれ愛のつどい」

令和７年度は鶴間地区の民生委員児童委員協議会主催による「ふれ愛のつどい」を５年ぶりに再開することができました。久々の再開のため利用者も職員も初めての方が多数いましたが、歌ったり踊ったり、楽器を鳴らしたりしながら利用者一人ひとりが楽しめた様子でした。

利用者が地域で生活するためには地域の支援が不可欠です。今後、安全が確保された後に、地域の方との交流の場所と障がい者への理解を深めていただく機会としていきたいと考えています。

３．事故報告について

令和７年度も事故防止委員会を中心に、事故事例やヒヤリハット事例の検証と情報の共有化を行うことで、支援上の事故防止に対する職員の意識向上を目指しました。「事故 WARNING」で職場内へ事故防止に関する情報提供をすることで、職員への意識啓発も行ないました。事故防止委員会では、事故やヒヤリハットの検証の結果を環境整備や業務改善へ向けた提案として積極的に行い、事故を未然に防げるよう注意喚起をしています。事故件数は６件となっています。神奈川県の事故報告の基準に照らし合わせ通院等に至った事故に対しての集計となっております。

事故報告の詳細としては、保冷材の誤飲１件、薬の誤飲１件、他害による通院２件、アレルギー食の誤食１件、転倒による骨折が１件でした。

また、同時開催している虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会でも、虐待防止や身体拘束に関する研修会を開催し（令和７年度は虐待研修１回、身体拘束研修１回）、ロールプレイ形式を用い、自身で体験することにより、職員へ意識付けのきっかけを作るようにしています。

事故件数	内訳							
	自傷	他害	転倒・転落	怪我	物損	所在不明	その他	ヒヤリハット
6件	0件	2件	0件	1件	0件	0件	3件	2477件

※ヒヤリハットには、軽微な事故（報告別紙分）も含む。（ヒヤリハット 832 件、事故別紙 1645 件）

神奈川県の事故報告の基準に照らし合わせた事故に対しての集計となっております。

４．苦情受付について

件数	内訳	
	職員関係	支援内容
0件	0件	0件

令和７年度は地域住民の方やご家族からの苦情の受付はありませんでした。

Ⅱ．利用者支援の内容

１．授産作業について

（１）令和７年度も継続でテレビ台部品の袋詰めの受注をしました。

（２）特別養護老人ホームル・リアンふかみへの清掃業務は感染症の影響により中止となりました。

（３）近隣のカフェに自主製品を置いていただけることになり、委託販売が始まりました。順次自主製品を納品していきます。

（４）地域の会社よりキャラクターのキーホルダーに証紙を貼る作業をいただきました。丁寧に証紙を貼ることができています。

（５）自主製品作業については、令和７年度もクラフトバンド、革製品、紙工芸品、季節飾りの手工芸の製品づくり、プランターで栽培した野菜の販売、地域の方から提供された野菜の袋詰め販売などを実施しました。

今後も利用者の得意なことを伸ばしながら自主製品を作成し、報酬を得る喜びが得られるよう努めていきたいと考えています。

① 授産作業の受注状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
受託回数(回)	3回	6回	8回	17回	13回	7回
受注合計金額	¥47,600	¥2,000	¥10,600	¥9,050	¥7,033	¥43,778

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14回	9回	24回	7回	4回	5回	117回
¥109,721	¥51,363	¥63,150	¥6,050	¥3,297	¥13,050	¥366,692

②工賃支給状況

区 分	支給人員	工賃支給率	最低工賃	最高工賃	１人あたり 年平均工賃	一人あたり 月平均工賃
7年度	56 名	100%	¥80	¥8, 630	¥6, 548	¥546
6年度	55 名	100%	¥20	¥4, 130	¥6, 039	¥503
5年度	56 名	100%	¥40	¥5, 620	¥5, 722	¥476
4年度	56 名	100%	¥40	¥4, 520	¥6, 230	¥519
3年度	51 名	100%	¥290	¥8, 080	¥9, 719	¥809

２．健康管理について

（１）令和７年度も看護師を中心に利用者の健康管理に努めました。

（２）11 月に嘱託医によるインフルエンザ予防接種も実施し冬季のインフルエンザの蔓延時期に備えました。感染者が数名出ましたが、重症化することなく皆５日間の療養を明けています。

（３）令和７年度はすべての検診が予定通りに行えています。

（４）令和７年度も引き続き障害者歯科認定医による利用者の摂食嚥下指導をほぼ毎月予定し、実施しています。

その他、ご家族からの健康相談には積極的に応じ、看護師から受診についてのアドバイスをさせていただくとともに日頃の健康管理について、お答えさせていただきました。

３．心理検査・相談について

令和７年度も臨床心理士による利用者の支援上の専門的なアドバイスを受け、個別のケースの支援に活かしてきました。職員の支援に対する悩みなども相談しています。

４．機能訓練について

毎月、理学療法士による身体機能の評価と機能訓練を肢体不自由の利用者を中心に実施しました。

理学療法士からは、利用者個々に合わせたストレッチ、マッサージの指導と姿勢保持（ポジショニング）の指導が行われ、また、食事については、食事姿勢、摂食嚥下についてのアドバイスを受けています。

また、グループごとに訓練の日を作り、サーキットトレーニングなどを行っています。

作業療法士からは、作業や生活場面の環境の見直し、自助具の工夫などのアドバイスを受け、利用者支援に活かしています。

内部の看護師と外部の病院も連携を図っています。

理学療法　作業療法（訓練、相談）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練日実数	1日	1日	1日	1日	1日	2日	2日	1日	3日	2日	1日	1日	17日
個別対象人数	9名	9名	9名	10名	13名	13名	25名	10名	24名	10名	10名	15名	157名
個別延訓練人数	9名	9名	9名	10名	13名	13名	25名	10名	24名	10名	10名	15名	157名

５．支援学校実習生受け入れについて

令和７年度は、瀬谷支援学校から２名の実習を受け入れました。感染対策を十分にご理解いただくうえで、お互いの安全を確保しながらの実習となりました。今後も成人期に向かっていく利用者の自立した生活を提供できるよう、更に研鑽を重ねていきたいと考えています。

６．送迎事業について

令和７年度市内を南北のエリアに区分して公用車５台で送迎事業を実施しました。

そのため、実利用者は 46 名（男性 38 名、女性８名）で送迎回数は年間延べ 15, 185 回で、680 回増となっております。ご家族の高齢化により送迎手段がない利用者にとっては第２松風園の送迎事業を活用することで安定した通所に繋がっています。今後も送迎サービスへの様々な利用ニーズに対応できるよう考えていきます。

７．オンブズパーソン活動について

令和７年度は毎月１回で１名のオンブズパーソンとの面談を設定し、利用者の意見を伺う場を提供しました。言葉によるコミュニケーションが難しい利用者が多いなか、オンブズパーソンが利用者の話を丁寧に傾聴され、園に対しての要望や不平、不満、楽しみなどを聴き取られています。

オンブズパーソンからは利用者から聴き取った内容について、書面での報告があり、必要に応じて第２松風園側からの回答が求められ、次回の活動の時に、オンブズパーソンを通じて利用者に説明されています。

相談内容は職員にとって初めて知る内容も多く、職員にとっても学ぶことの多い活動となっています。

令和７年度のオンブズパーソン活動も、感染対策を十分に行いお互いの安全が確保できる環境を整えて実施いたしました。

８．保護者との連携について

グループ別懇談会４回、家族会 12 回、個別面談を実施してご家族よりご意見の聴取を行いました。

９．まとめ

令和７年度の第２松風園では、新たに迎えた新規利用者２名を加え 57 名となりました。障害者支援施設へ入所が決まった利用者が１名おり、６月末に退所したため、年度末在籍は 56 名となりました。定員の 45 名を超えての運営ですが、利用の希望が途絶えることがない状況です。今後も定員管理の課題については、セーフティーネットとしての役割を重視して、一時的な定員超過は定員緩和として担当課への了解を取りながら実施し、新規事業所への移行を進めていく考え方で今後も対処していく必要があると感じています。

日頃の業務においては、年数を重ねてきた結果、利用者は安定した生活が維持できている状態です。対応が難しいケースでも意思決定支援を重視して利用者に寄り添う支援を今後も継続していきたいと考えています。近年の傾向は受け入れる利用者の重度化、また利用者の行動の変容があり、職員の見守りの目が多く必要な状況です。また、高齢期を迎えた家族が、本人の介助に限界を感じ、短期入所の利用が増える状況となっています。

日帰り旅行は１日の行程のものを継続しています。利用者の楽しめる行程や普段できないような経験ができるよう、様々な工夫を今後もしていきます。

松風園まつりは、雨の中開催することができました。出店や利用者の自主製品販売を行い、地域の方が来場してくださいました。また、西鶴間小学校の体育館をお借りでき、地域の方々がパフォーマンスをしてくださいました。来場してくださった利用者、ご家族も楽しかったとの声をいただけました。

令和７年度も継続して余暇支援プログラムをおこなうことができました。神奈川県芸術文化活動センターのアーティストが、文化活動としてコンテンポラリーダンスを行ってくださいました。自由に参加できる回を設け、今まで参加していなかった利用者も参加ができました。初めてダンサーとふれあう利用者もいましたが、混乱なくダンスに参加することができていました。令和８年度以降も様々な余暇支援プログラムを考え、利用者と共に楽しんでいけたらと思います。

令和７年８月に行われた評価委員会にて、ニコリホットの取り組みを勧められ、翌日より取り組み始めました。どんな些細なことでも、ニコリ、ホットしたことは何でもあげていきましょう、と職員に伝えていったところ、年度末までの８か月間で 234 件のニコリホットが上がりました。まだ報告に上がる利用者があまり多くはありませんが、少しずつニコリホットにあがる利用者が多くなっていければと思います。

令和７年度は保冷材の誤飲、薬の誤飲、他害による通院、転倒による骨折がありました。令和８年度には同様の事故が起こらないよう、職員一同気を付けていきます。

令和７年度、職員による虐待が疑われる案件が１件ありました。高揚した利用者と距離を取るために、利用者の背中を押してしまいました。結果としては虐待ではないと判断をいただきましたが、距離を取る方法は他にもあったはず、と職員会議、グループ会議などで支援の方法を見直すきっかけとなりました。この経験を活かし、虐待防止委員会も含め、継続して虐待防止に力を入れていきます。

第２松風園の事業は、職員の力だけではなく多くの方々に支えられて成り立っています。感謝の気持ちを忘れずに、今後も真摯な姿勢で事業に取り組んでいきたいと思います。

３　第１松風園および第２松風園共通事項

１.鶴間地区民生委員児童委員協議会主催「ふれ愛のつどい」について

令和７年度は鶴間地区の民生委員児童委員協議会主催による「ふれ愛のつどい」を５年ぶりに再開することができました。児童用の演奏、成人用の演奏と２部に分けていただき、久々の再開のため利用児者も職員も初めての方が多数いましたが、歌ったり踊ったり、楽器を鳴らしたりしながら利用児者ひとり一人が楽しめた様子でした。

２.市内巡回作品展（イオン作品展・画廊喫茶オルセー作品展など）について

（１）利用児者が制作した絵画、書画、造形の芸術作品を地域の作品展に出展しています。
作品は利用児者個人によるものから職員との協同作品を含めて、それぞれの個性を大切に、制作に取り組みました。このほか、第１松風園ではやまとげんきっこアートフェスティバルに、第２松風園では、横浜ラ・ポール美術展に参加しています。

（２）作品展を観覧された方からは数多くの応援のメッセージをいただき、利用児者の制作意欲の向上や自信に繋がるものとなっています。

（３）利用児者の社会参加の一つとして、また地域への理解を深めるため、地域に根付いた事業として今後も積極的に展開していきたいと考えています。

３.食事の提供について

（１）第１松風園・第２松風園毎に定例会議を実施し、嗜好調査を行うなど利用児者の希望を取り入れ、栄養士や調理員が食事時に第１松風園各クラス、第２松風園の食堂に赴き、喫食状況を対応職員と確認したうえでの食事の提供に努め、また、障がいの状況に合わせて自助具（介助皿・スプーン等）を提供しました。

（２）第１松風園では、給食試食会を２回開催しました。
献立レシピを配布して、家庭での食事に活用していただいています。

（３）嚥下、咀嚼機能が未発達な利用児や嚥下、咀嚼機能に支障のある利用児者に対しては、ご家族と理学療法士が確認しあい、また第２松風園では障害者歯科認定医とも連携し、摂食機能の向上のための練習食を用意するなど、一人ひとりの摂食機能に応じた食形態（ペースト、ミキサー、刻み）により食事を提供しました。

（４）食事の幅が広がるきっかけになるように、偏食対応など個別の配慮を実施しました。

（５）食形態や麺類の長さ、主菜・副菜の大きさ、除去食の有無について記載した特別食カードを作成し、また、偏食がある利用児者や咀嚼機能が未発達な利用児者に対しては具と米飯、具と汁を分けて提供するよう具別の表記を行い保育士や支援員等との連携のもと食事を提供しました。
口腔ケアについて理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及び看護師と連携のもと実施しました。

（６）食物アレルギー対応に関しては、定期的にアレルギー会議を開催し個別のアレルギー対応献立を提供し、ご家族に配布し、ご家族と職員が情報共有しています。

４．ボランティア受け入れについて

（１）第１松風園では、保育ボランティア延べ８名、音楽療法ボランティアは延べ90名の訪問となりました。

（２）第２松風園では、ボランティアの方々の受け入れ人員は０名となっています。

５．研修生受け入れについて

（１）第１松風園

①専門学校２校、短期大学３校、大学３校から10名を受け入れました。

②他事業所など24団体・個人など55名の見学を含めた受け入れを行っています。市内教職員、幼稚園、保育園関係者の研修会は実施しませんでした。

（２）第２松風園

①短期大学１校、大学１校から４名の研修生（現場実習）を受け入れました。

②市内の南林間中学校、光丘中学校より２年生８名の職場体験実習を受入れています。

６．安全対策（自衛消防訓練等の実施）について

（１）１２回の自衛消防訓練を実施し内６回を地震想定やグラリ３分一斉行動で行っています。
（２）消火訓練を家族、職員の代表者が毎月実施しています。
（３）安全対策として職員全員分のヘルメットを確保し、利用児者の防災頭巾も用意しています。
（４）利用児者、職員を含めて 190 名分の防災食を３日分および防災用品（簡易トイレ、かまどなど）を購入し防災対策を講じています。
（５）公用車にドライブレコーダーを設置し安全な送迎事業を実施しています。
全送迎車両に置き去り防止装置を設置し、安全管理の徹底をしています。
（６）安全運転管理者を中心とした安全運転教育を送迎会議において実施しました。
（７）大和市消防本部主催救命講習会に職員 164 名が参加しました。

７．地域防災関係について

（１）大和市主催で松風園福祉避難所検討委員会を設置し、福祉避難所に係る運営マニュアルの策定や設置、運営等に係る総合的な調整を検討し、「松風園福祉避難所運営マニュアル」が完成しました。
（２）大和市内の知的障害施設を運営する４法人と大和市障害者施設災害対策連絡会を発足し、市内法人の災害対策に対する情報の共有や意見交換、災害対策について具体的な検討を行う場としましたが、令和７年度も開催できませんでした。
（３）現地域防災の在り方について検討を継続しています。

８．安全衛生委員会について

（１）産業医及び衛生管理者を中心に、法人全体の取り組みとして施設内の環境整備、支援上の環境整備、事故防止、職場における精神衛生、防災対策、インフルエンザ対策、新型コロナウイルス感染症対策、事故防止対策などを検討するため、法人の代表者が参加し、毎月１回実施しました。
（２）労災事故の報告および対策について検討も加え再発防止に努めています。
（３）令和７年９月にストレスチェックを実施し 181 名が受検し、その結果に基づいたメンタルヘルスの対応に反映しています。

９．保健担当者・医療的ケア会議について

（１）毎月１回第１・第２松風園、看護師と合同で検診、感染症、健康面での留意事項の連絡、報告、相談を保健担当者会議として実施しました。
（２）医療的ケアが必要な利用児者の健康状況の確認のため、定期的に、医療的ケア会議を実施しました。

10．職員の資質向上について

（１）第１松風園

① 人権研修を含めた内部研修（職員会議等で実施）を 47 回、外部研修に延べ 71 回参加。
②ケースカンファレンスを整形外科 12 ケース、精神科 29 ケース実施しました。

（２） 第２松風園

① 人権研修を含めた内部研修（職員会議で実施）を 24 回、外部研修に延べ 55 回参加。
② 個別ケース検討会であおぞら宣言に基づく人権侵害の有無を確認しました。
③ 職員会議 24 回、主任会議 23 回、送迎会議 12 回など実施しました。

11．施設管理関係について

（１）大和市役所環境マネジメントシステムの大和市環境方針の理念に基づき定期検査や保守点検等を綿密に実施し、協定書に基づき適正に運営を行いました。
（２）夏季の暑さ対策：温度湿度管理も徹底することで、暑さ対策を講じました。

※建物等点検管理状況は以下のとおりです。

業　務	回数	実施日											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自家用電気工作物巡視点検	12回	4/11	5/26	6/24	7/22	8/26	9/24	10/29	11/17	12/22	1/21	2/26	3/24
電気設備精密点検	1回								11/30				異常なし
エレベーター・小荷物専用昇降機保守点検	25回	4/30	5/15	6/30	7/31	8/29	9/30	10/31	11/19	12/31	1/31	2/24	3/31
		エレベーター5/15、8/29, 11/19、2/24 定期点検、他は遠隔操作 全て異常なし											
		4/9	5/19	6/5	7/8	8/18	9/2	10/29	11/25	12/11	1/13	2/5	3/9
		10/29 小荷物専用昇降機定期点検											
内・厨房・食堂害虫駆除	4回			6/28		8/23			11/22			2/28	
自動ドア点検	4回			6/23			9/18			12/10			3/13
		1/13 正面入り口速度不調により手直しを実施											
空調機整備・点検・冷暖房切替	2回		5/3						11/18				
ｴｱﾊﾝﾄﾞﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄﾌｨﾙﾀｰ清掃業務	2回		5/24						11/22				
木部床面清掃	2回					8/9						2/28	
長尺シート清掃	2回					8/9						2/28	
カーペット・絨毯清掃	2回		5/24						11/22				
ガラス清掃	2回					8/9						2/28	
調理室レンジフード清掃	2回		5/24						11/22				
ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ清掃業務	2回						9/2						3/2
消防設備点検	2回					8/23						2/28	
非常用放送設備点検	2回			6/5						12/9			
高架水槽等清掃	1回				7/26								
ガスレンジバーナー清掃	1回					7/14							
樹木消毒・樹木剪定	不定期						9/15,23						

12. 地域生活公開講座について

法人理念である地域の拠点としての役割を担うため地域の方々とご家族を対象とした地域生活支援公開講座を延べ７回、自閉症療育講座を７回、それぞれ法人事業として実施しました。

講座の内容に応じて対面やオンライン開催、見逃し配信などで実施しました。

13. 地域交流について

（１）第17回松風園まつりを令和７年10月11日に、松風園と西鶴間小学校の校庭・体育館をお借りして開催しました。

（２）地域団体関係では、大和市肢体不自由児者父母の会主催の音楽療法の会場として７月と12月の２度予定しましたが、12月は講師の都合で開催できず、年１回の開催となりました

14. 職員の配置状況について

第１松風園および第２松風園共に指定管理上の人員要件を満たしております。

令和７年度末 人員配置状況　　※兼務者含む　（　）内 非常勤再掲

区分	第１松風園	第２松風園
統括園長	１名	
統括事務長	１名	
事務員	６名（３）	
園 長 (ｻｰﾋﾞｽ管理責任者等)	１名	１名

保育士・児童指導員	22名(10) 常勤換算 16.6名 (基準数14.4名)	
生活支援員		35名(19) 常勤換算22.3名 (看護師、理学療法士又は作業療法士を含む常勤換算 23.4名) (基準数23.4人)
理学療法士 作業療法士	2名（1）	1名
看護師	3名（1）	4名（3）
臨床心理士	1名	1名
音楽療法士	1名（1）	
栄養士	1名	
調理員	4名(4)	5名（4）

４．松風園を活用した独自事業

１．保育所等訪問支援事業

保育所等(保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、特別支援学校等)を利用中、または、今後利用する予定の障がい児が保育所等における集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に訪問支援により、保育所等で安定した利用を促進するための支援を行う事業を実施しました。

（1）令和７年度は保育園児21名、幼稚園児６名、小学生９名、中学生３名の合計39名の児童に向けて、196回の訪問支援を実施しました。４月の年度の初めから訪問を開始できるよう計画的に運営したことで、実績としては令和６年度と比較し113%の実績でした。また、令和６年度に引き続き中学校への訪問依頼があり、中学校への訪問対象児が３名に増えました。ここ数年小学生以上が多かったのですが、令和７年度は一つの園から数名の訪問依頼がある園が増えたこともあり、保育園・幼稚園の利用児は全体の69%で、例年よりも保育園・幼稚園児の占める割合が増えました。

最近の傾向として、原則１年での支援の終結を目指していますが、支援を終結できず、継続するケースが多いです。その要因の１つとして、学年が変わることで、施設内で対応が引き継がれず、問題が再燃し、支援の継続が必要となるケースが多いことが挙げられます。また、これまで以上にさまざまな事情で家庭生活への支援が必要なケースの利用が明らかに増え、訪問先の施設だけでなく、ご家庭への支援のために、保護者との面接や連絡調整、多くの関係機関との連携が必要になってきています。このような家庭への支援が必要なために、支援を継続するケースも増えています。保育所等訪問支援事業を受けたことのある施設や相談支援事業所から、集団適応などの課題とともに児童の支援方針を明らかにするため、保護者に同事業の利用を提案することもこれまで同様多く見られています。

（2）令和７年度は、ペアレント・トレーニングのグループでの実施は行いませんでしたが、訪問支援の報告面接で、必要に応じてペアレント・トレーニングの要素を取り入れた継続面接を行いました。

（3）「訪問相談事業」の令和７年度の実施はありませんでした。

※児童発達支援センターの地域支援の一環として実施しています。

２．相談支援事業

障がい児者の自立した生活を支え、障がい児者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向け、利用者本人やご家族から様々な不安や悩みなどの相談をお受けする事業になっています。

（１）障害児相談支援事業は児童発達にかかる専門的機関として市内児童の約４割弱を担当し、本人の育ちや家族のエンパワメントを引き出すことを基本におき、児童支援利用計画作成 586 件、モニタリング 132 件作成し、その調整の中で多くの相談を受けています。

（２）計画相談支援事業は、地域での自立生活に向けて、意思を尊重した寄り添う支援を提供するため、特性に合った社会資源の調整を行い、サービス等利用計画 87 件、モニタリング 76 件作成し、その調整の中で多くの相談を受けています。

（３）相談支援事業は、上記２事業の相談の中で上がってくる相談を含め実相談者 462 名で、うち 75.1%が児童関係で、継続して児童を中心とした相談支援を行っています。

※（１）は児童発達支援センターの地域支援の一環として、（３）の相談支援の一部も地域支援の機能を併せ持っています。また、大和市障害者自立支援協議会の専門部会である児童部会を主催し、「保護者が就労している家庭の“支援が必要なこども”の過ごす場を考える」をテーマとして、各関係機関と課題を整理し、今後に向けての提案について検討しています。児童部会以外にも地域生活支援部会（現：高齢福祉分野との連携部会）及び精神保健福祉部会（現：精神障がい「にも包括」で支え合おう会）に参画しています。その他、医療的ケア児コーディネート事業として、医ケア児とその家族が地域で安心して生活できるための支援を関係機関との連携のもと行っています。

３．日中一時支援事業

第１松風園と第２松風園の有効活用を図るため、両事業の空きスペースを活用した日中一時支援事業をそれぞれ定員 10 名で実施しています。

（１）第１松風園では、保護者の就労支援やレスパイト、また、きょうだい児との時間を確保することを目的に、40 名の利用児が延べ 974 回利用しています。利用率は 42.2%と令和６年度の実績を下回りました。近隣に放課後等デイサービスや保育園利用が増えたことが影響しています。

（２）第２松風園では、家族のレスパイトや利用者支援の充実を図るための時間、利用者にとっては余暇時間の充実や社会活動支援を目的に、26 名の利用者が延べ 1,547 回利用しています。利用率は 64.2%で、令和６年度比で大幅増となりました。

４．その他の独自事業

（１）児童発達支援事業：未就学児の療育を目的とした事業で、第１松風園の入園を希望、待機になった児童を対象として受け入れている他、幼稚園や保育園に通いながら療育を必要とする児童を対象に支援の場として実施しています。４事業所で令和６年比延べ利用人員は2,886名から2,529名と大幅減となりました。

（２）放課後等デイサービス：学齢期に療育支援を受ける場として実施しています。５事業所で令和６年比で延べ 6,834 名から 6,646 名に減少しました。

（３）松葉の家：第２松風園では、受け入れ可能人員の上限に達し、近隣に生活介護事業所松葉の家を開所しています。事業内容は第２松風園と同様ですが、肢体不自由者などを中心として受け入れています。利用定員は 20 名で、令和７年度は、１名の新規利用契約者を加え、24 名の利用者とともに事業を開始しました。５月に１名新規利用者が加わりましたが、８月に利用者１名が市外に転居し退所したこともあり、令和７年度末には 24 名の方に在籍しています。

年間の利用実績は、利用日が当初の予定通り 265 日となり、延べ利用人数が 4,169 名、利用率は 64.6%で、１日の平均利用人数は 15.7 名となりました。

（４）しらかし(共同生活援助)：親亡き後の支援の場を意識した取り組みとして、しらかしを開所しています。定員は入居型５名と体験入居枠１名の計６名で、入居型利用者は日中活動場として第２松風園を利用しています。延べ基本利用日数は 1632 日、入居率は 89.4%となり、令和６年度の延べ利用日数 1623 日より若干増加しました。

体験型は，将来の共同生活援助事業所への入居や障害者支援施設への入所が円滑に行えるよう自立し

た生活を目指して支援しています。利用実員は９名で令和６年度 296 日から 279 日へ、利用率は 75.6%と減少しました。

（５）ブナの樹(共同生活援助)：日中活動の場として、第２松風園と松葉の家を利用しています。入居型７名と体験入居枠０名の男性７名で令和７年度はスタートしました。基本利用は 2163 名となり入居率は 84.7%となり令和６年度の 2171 名より若干減少しました。

５．収支決算の状況

１．第１松風園について

令和７年度の第１松風園では全体の利用人数は増加し、医療的ケア児の利用は減少したものの中核的機能強化加算をはじめ各種加算による増加もあり年間通じては増収となりました。

利用児延べ人員は 106 名の減少で、事業収入としては、令和６年度比で、障害児施設給付費収入は約 129 万円の増となりました。

支出の面では、人件費が令和６年度比約 1121 万円の増となりました。事業費及び事務費、給食材料費や光熱水費などの合計は約 323 万円の支出増になっています。

収支差額は繰入金支出を含めて約 442 万円で指定管理料がないと約 5,317 万円のマイナスとなります。

２．第２松風園について

第２松風園では新規利用者２名を迎えスタートしました。途中利用者１名の退所がありましたが、年間利用人数も増加し全体的にも増収となりました

総利用者数が 157 名増加したことにより自立支援給付費収入は、約 402 万円増加しました。

支出の面では、人件費は、令和６年度から約 1273 万円の増となりました。事業費及び事務費など、令和６年度比で、支出総額は約 73 万円の増になりました。収支差額は約 822 万円で指定管理料がないと約 1800 万円のマイナスとなります。これは、指定管理における指定基準の職員配置基準が緩和されましたが、職員配置や資質向上を考慮することには変わらず、常時その人員の確保が必要なことも要因となりました。

指定管理で実施する両事業の収支は指定管理料によってプラスに保たれることに変化はありませんでした。

また、社会福祉法人改革に伴う社会福祉充実残額は特例の適用により大幅なマイナスとなり、社会福祉充実計画の策定は行わないこととなりました。

６．法人全体の虐待防止の取り組み状況

定期的な虐待防止委員会の開催、施設内における安全カメラの設置、オンラインを活用した研修を取り入れ、定期的な研修体制を構築しました。

虐待防止委員会を設置し、虐待防止のための研修の実施等を行いました。虐待の早期発見についての研修では日頃、取り組んでいることについて看護師、担任等それぞれの立場や園内、家庭訪問時などの場面に応じた早期発見のポイントについて学び、日々の支援に生かすことができました。また、虐待防止は目の前の利用児者の理解が大切との観点から障害理解に関する研修も実施しました。

身体拘束適正化検討委員会を設置し、身体拘束及びその他の行動制限を禁止とすることを原則とし、やむを得ず身体拘束及び行動制限を行う場合には３要件（切迫性、非代替性、一時性）を全て満たす必要があることなど基本的なことの確認や職員をはじめ、ご家族への周知に努め、身体拘束や行動制限を行う判断や、廃止について検討し、研修などを実施しています。令和７年度は、座位保持椅子のベルト、テーブルの使用、バス乗車の際にシートベルトだけでは安全が確保できない場合に追加のベルトを使用する、他害時の一時的な行動制止などの行動制限をご家族に同意を得て安全のために実施しました。

法人合算令和７年度　資金収支決算（合算概要）

資料1-1②

勘定科目			令和7年度予算	令和7年度決算	差　異	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	440,088,531	435,419,398	4,669,133	令和6年度 410,947,151円
		自立支援給付費収入	203,536,138	201,638,693	1,897,445	利用実績減による予算からの減。前年比2名増により157名利用増。(6年度197,610,117円)
		障害児施設給付費収入	141,172,202	138,576,655	2,595,547	前年比108名減による予算からの減。前年比中核的機能加算ロからⅡへの増による増。(6年度137,277,592円)
		利用者負担金収入	120,000	99,409	20,591	
		特定費用収入	6,795,200	6,639,650	155,550	
		その他の事業収入	88,464,991	88,464,991	0	
		補助金収入	3,254,991	3,164,991	90,000	神奈川県物価高騰対策/福祉人材確保・職場環境改善補助金
		受託収入	85,300,000	85,300,000	0	指定管理料
		その他の事業収入	0	0	0	
		(保険等査定減)	0	0	0	
		経常経費寄附金収入	500,000	407,000	93,000	松風園まつりによる増・他家族会関係より
		受取利息配当金収入	10,273	54,286	-44,013	
		その他の収入	5,752,153	5,367,519	384,634	
		受入研修費収入	259,000	201,500	57,500	実習生謝礼
		利用者等外給食費収入	4,468,760	4,422,570	46,190	職員の給食費収入
		雑収入	1,024,393	743,449	280,944	
		事業活動収入計 (1)	446,350,957	441,248,203	5,102,754	
	支出	役員報酬	1,000,000	842,594	157,406	
		人件費支出	317,164,044	322,633,768	-5,469,724	人件費率74.1%(令和6年度72.7%)
		事業費支出	29,456,548	28,703,622	752,926	
		事務費支出	59,379,512	55,896,244	3,483,268	物価高騰等見込み増、支出削減による減
		その他の支出	5,816,952	5,403,056	413,896	利用者等外給食費食材費
		徴収不能額		133,596		
		事業活動支出計 (2)	412,817,056	413,612,880	-795,824	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		33,533,901	27,635,323	5,898,578	
施設整備等による収支	収入		0	0	0	
			0	0	0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出	固定資産取得費	3,482,682	3,253,197	229,485	
		建物附属設備取得支出	0	0		
		器具及び備品取得費支出	1,756,500	1,527,015	229,485	FAX交換・第2松風園安全カメラ設置(10台)
		長期前払費用取得支出	1,726,182	1,726,182	0	記録支援ソフト更新(5年分)
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,595,472	1,560,893	34579	サーバー・PCのリース
		施設整備等支出計 (5)	5,078,154	4,814,090	264,064	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		-5,078,154	-4,814,090	-264,064	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,180,660	1,180,660	0	
		退職給付引当資産取崩収入	1,180,660	1,180,660	0	退職者の神奈川県福利協会退職資産の取り崩し
		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金収入	0	2,500,000	-2,500,000	法人本部の繰入
		その他の活動による収入	595,840	440,000		防災備蓄品倉庫使用物件敷金の返金
		その他の活動収入計 (7)	1,776,500	4,120,660	-2,344,160	
	支出	投資有価証券取得支出				
		積立資産支出	4,038,000	4,038,000	0	
		退職金給付引当資産支出	4,038,000	4,038,000	0	神奈川県福利協会退職共済掛金事業主負担分
		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金支出	0	8,800,000	-8,800,000	法人本部・保育所等訪問支援事業へ繰入
		その他の活動による支出	900,000	900,000	0	防災備蓄品倉庫使用物件の移転による支出
		その他の活動支出計 (8)	4,938,000	13,738,000	-8,800,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		-3,161,500	-9,617,340	6,455,840	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			25,294,247	13,203,893		収支差額 3.0% (6年度 6.2%)

前期末支払資金残高 (11)	202,068,933	202,068,933		
当期末支払資金残高 (10)+(11)	227,363,180	215,272,826		

法人本部　令和７年度　資金収支決算内訳（概要）

資料1-1③

勘定科目			令和7年度予算	令和7年度決算	差　異	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	2,050,000	2,050,000	0	
		自立支援給付費収入				
		障害児施設給付費収入				
		利用者負担金収入				
		特定費用収入				
		その他の事業収入	2,050,000	2,050,000	0	
		補助金収入	600,000	600,000	0	障がい者地域生活サポート事業助成
		受託収入	1,450,000	1,450,000	0	指定管理料
		その他の事業収入				
		（保険等査定減）				
		経常経費寄附金収入	250,000	238,000	12,000	松風園まつりによる増・他家族会関係より
		受取利息配当金収入	990	1		
		その他の収入	401,408	247,160	154,248	
		受入研修費収入				
		利用者等外給食費収入	1,408	660	748	
		雑収入	400,000	246,500	153,500	
		事業活動収入計 (1)	2,702,398	2,535,161	167,237	
	支出	役員報酬	1,000,000	842,594	157,406	
		人件費支出	103,579	53,456	50,123	運営協議会委員等
		事業費支出	176,526	499,284	-322,758	
		事務費支出	3,441,034	3,028,385	412,649	松風園内修繕含む
		その他の支出			0	
		徴収不能額				
		事業活動支出計 (2)	4,721,139	4,423,719	297,420	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		-2,018,741	-1,888,558	-130,183	
施設整備等による収支	収入		0	0	0	
					0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出	固定資産取得費			0	
		建物附属設備取得支出				
		器具及び備品取得費支出			0	
		長期前払費用取得支出				
		ファイナンス・リース債務の返済支出	61,380	56,265	-5,115	
		施設整備等支出計 (5)	61,380	56,265	-5,115	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		-61,380	-56,265	-5,115	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入			0	
		退職給付引当資産取崩収入				
		サービス区分間繰入金収入		2,500,000	-2,500,000	
		その他の活動による収入				
		その他の活動収入計 (7)	0	2,500,000	-2,500,000	
	支出	投資有価証券取得支出				
		積立資産支出				
		退職金給付引当資産支出				
		サービス区分間繰入金支出				
		その他の活動による支出				
		その他の活動支出計 (8)	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		0	2,500,000	-2,500,000	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			-2,080,121	555,177	-2,635,298	

前期末支払資金残高 (11)	16,952,461	16,952,461	0	
当期末支払資金残高 (10)+(11)	14,872,340	17,507,638	-2,635,298	

第１松風園　令和７年度　資金収支決算内訳（概要）

資料1-1④

勘定科目			令和7年度予算	令和7年度決算	差　異	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	202,530,737	199,898,999	2,631,738	
		自立支援給付費収入	0	0	0	
		障害児施設給付費収入	141,172,202	138,576,655	2,595,547	前年比106名減による予算からの減。前年比中核的機能加算IIからIIへの増による増。(6年度137,277,582円)
		利用者負担金収入	120,000	99,409	20,591	
		特定費用収入	2,289,700	2,274,100	15,600	
		その他の事業収入	58,948,835	58,948,835	0	
		補助金収入	1,438,835	1,348,835	90,000	神奈川県物価高騰対策/福祉人材確保・職場環境改善補助金
		受託収入	57,600,000	57,600,000	0	指定管理料
		その他の事業収入				
		（保険等査定減）			0	
		経常経費寄附金収入	150,000	119,000	31,000	
		受取利息配当金収入	5,500	27,915	-22,415	
		その他の収入	2,170,380	2,123,721	46,659	
		受入研修費収入	150,000	127,500	22,500	実習生謝礼
		利用者等外給食費収入	2,000,000	1,983,640	16,360	職員の給食費収入
		雑収入	20,380	12,581	7,799	
		事業活動収入計 (1)	204,856,617	202,169,635	2,686,982	
	支出	役員報酬				
		人件費支出	145,649,999	143,643,420	2,006,579	
		事業費支出	10,014,326	9,417,618	596,708	
		事務費支出	34,158,489	33,181,296	977,193	物価高騰見込み増、支出削減による減
		その他の支出	2,491,162	2,285,285	205,877	
		徴収不能額				
		事業活動支出計 (2)	192,313,976	188,527,619	3,786,357	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		12,542,641	13,642,016	-1,099,375	
施設整備等による収支	収入		0	0	0	
					0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出	固定資産取得費	1,183,104	1,068,361	114,743	
		建物附属設備取得支出				
		器具及び備品取得費支出	287,000	172,257	114,743	FAX交換
		長期前払費用取得支出	896,104	896,104		記録支援ソフト更新（5年分）
		ファイナンス・リース債務の返済支出	693,840	682,484		サーバー・PCのリース
		施設整備等支出計 (5)	1,876,944	1,750,845	114,743	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		-1,876,944	-1,750,845	-126,099	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,024,820	1,024,820	0	
		退職給付引当資産取崩収入	1,024,820	1,024,820	0	退職者の神奈川県福利協会退職資産の取り崩し
		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金収入			0	
		その他の活動による収入	220000	220,000		防災備蓄品倉庫使用物件敷金の返金
		その他の活動収入計 (7)	1,244,820	1,244,820	0	
	支出	投資有価証券取得支出				
		積立資産支出	1,959,000	1,959,000	0	
		退職金給付引当資産支出	1,959,000	1,959,000	0	
		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金支出	0	6,300,000	-6,300,000	
		その他の活動による支出	450,000	450,000	0	防災備蓄品倉庫使用物件の移転による支出
		その他の活動支出計 (8)	2,409,000	8,709,000	-6,300,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		-1,164,180	-7,464,180	6,300,000	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			9,501,517	4,426,991	5,074,526	

前期末支払資金残高 (11)	84,506,816	84,506,816	0	
当期末支払資金残高 (10)+(11)	94,008,333	88,933,807	5,074,526	

第２松風園　令和７年度　資金収支決算内訳（概要）

資料1-1⑤

勘定科目			令和7年度予算	令和7年度決算	差　異	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	235,507,794	233,470,399	2,037,395	
		自立支援給付費収入	203,536,138	201,638,693	1,897,445	利用実績減による予算からの減。前年比2名増により157名利用増。(6年度197,610,117円)
		障害児施設給付費収入				
		利用者負担金収入				
		特定費用収入	4,505,500	4,365,550	139,950	
		その他の事業収入	27,466,156	27,466,156	0	
		補助金収入	1,216,156	1,216,156	0	神奈川県物価高騰対策/福祉人材確保・職場環境改善補助金
		受託収入	26,250,000	26,250,000	0	指定管理料
		その他の事業収入	0	0	0	
		(保険等査定減)	0	0	0	
		経常経費寄附金収入	100,000	50,000	50,000	
		受取利息配当金収入	3,783	26,370	-22,587	
		その他の収入	3,180,365	2,996,638	183,727	
		受入研修費収入	109,000	74,000	35,000	実習生謝礼
		利用者等外給食費収入	2,467,352	2,438,270	29,082	職員の給食費収入
		雑収入	604,013	484,368	119,645	
		事業活動収入計 (1)	238,791,942	236,543,407	2,248,535	
	支出	役員報酬				
		人件費支出	171,410,466	178,936,892	-7,526,426	
		事業費支出	19,265,696	18,786,720	478,976	
		事務費支出	21,779,989	19,686,563	2,093,426	
		その他の支出	3,325,790	3,117,771	208,019	
		徴収不能額		133,596		
		事業活動支出計 (2)	215,781,941	220,661,542	-4,746,005	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		23,010,001	15,881,865	7,128,136	
施設整備等による収支	収入		0	0	0	
					0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出	固定資産取得費	2,299,578	2,184,836	114,742	
		建物附属設備取得支出			0	
		器具及び備品取得費支出	1,469,500	1,354,758	114,742	FAX交換・第2松風園安全カメラ設置(10台)
		長期前払費用取得支出	830,078	830,078		記録支援ソフト更新(5年分)
		ファイナンス・リース債務の返済支出	840252	822,144		サーバー・PCのリース
		施設整備等支出計 (5)	3,139,830	3,006,980	114,742	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		-3,139,830	-3,006,980	-132,850	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	155,840	155,840	0	
		退職給付引当資産取崩収入	155,840	155,840	0	退職者の神奈川県福利協会退職資産の取り崩し
		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金収入	0	0	0	
		その他の活動による収入	220,000	220,000	0	防災備蓄品倉庫使用物件敷金の返金
		その他の活動収入計 (7)	375,840	375,840	0	
	支出	投資有価証券取得支出				
		積立資産支出	2,079,000	2,079,000	0	
		退職金給付引当資産支出	2,079,000	2,079,000	0	神奈川県福利協会退職共済掛金事業主負担分
		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入金支出		2,500,000		法人本部への繰入金支出
		その他の活動による支出	450,000	450,000		防災備蓄品倉庫使用物件の移転による支出
		その他の活動支出計 (8)	2,529,000	5,029,000	-2,500,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		-2,153,160	-4,653,160	2,500,000	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			17,717,011	8,221,725	9,495,286	

前期末支払資金残高 (11)	100,609,656	100,609,656	0	
当期末支払資金残高 (10)+(11)	118,326,667	108,831,381	9,495,286	

合算（区分別）令和７年度　資金収支決算（概要）

資料1-1⑥

勘定科目			合計	本部	第1松風園	第2松風園	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	435,419,398	2,050,000	199,898,999	233,470,399	令和6年度 410,947,151円
		自立支援給付費収入	201,638,693	0	0	201,638,693	利用実績減による予算からの減。前年比2名増により157名利用増。(6年度197,810,117円)
		障害児施設給付費収入	138,576,655	0	138,576,655	0	前年比10名減による予算からの減。前年比中活的価格加算Ⅱからの増による増。(6年度137,277,582円)
		利用者負担金収入	99,409	0	99,409	0	
		特定費用収入	6,639,650	0	2,274,100	4,365,550	
		その他の事業収入	88,464,991	2,050,000	58,948,835	27,466,156	
		補助金収入	3,164,991	600,000	1,348,835	1,216,156	神奈川県物価高騰対策/福祉人材確保・職場環境改善補助金
		受託収入	85,300,000	1,450,000	57,600,000	26,250,000	指定管理料
		その他の事業収入	0	0	0	0	
		（保険等査定減）	0	0	0	0	
		経常経費寄附金収入	407,000	238,000	119,000	50,000	松風園まつりによる増・他家族会関係より
		受取利息配当金収入	54,286	1	27,915	26,370	
		その他の収入	5,367,519	247,160	2,123,721	2,996,638	
		受入研修費収入	201,500	0	127,500	74,000	実習生謝礼
		利用者等外給食費収入	4,422,570	660	1,983,640	2,438,270	職員の給食費収入
		雑収入	743,449	246,500	12,581	484,368	
		事業活動収入計 (1)	441,248,203	2,535,161	202,169,635	236,543,407	
	支出	役員報酬	842,594	842,594	0	0	
		人件費支出	322,633,768	53,456	143,643,420	178,936,892	人件費率74.1%(令和6年度72.7%)
		事業費支出	28,703,622	499,284	9,417,618	18,786,720	
		事務費支出	55,896,244	3,028,385	33,181,296	19,686,563	物価高騰等見込み増、支出削減による減
		その他の支出	5,403,056	0	2,285,285	3,117,771	利用者等外給食費食材費
		徴収不能額	133,596	0	0	133,596	
		事業活動支出計 (2)	413,612,880	4,423,719	188,527,619	220,661,542	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		27,635,323	-1,888,558	13,642,016	15,881,865	令和6年度　36,547,238円
施設整備等による収支	収入		0	0	0	0	
			0	0		0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	
	支出	固定資産取得費	3,253,197	0	1,068,361	2,184,836	
		建物附属設備取得支出	0	0	0	0	
		器具及び備品取得費支出	1,527,015	0	172,257	1,354,758	FAX交換・第2松風園安全カメラ設置(10台)
		長期前払費用取得支出	1,726,182	0	896,104	830,078	記録支援ソフト更新(5年分)
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,560,893	56,265	682,484	822,144	サーバー・PCのリース
		施設整備等支出計 (5)	4,814,090	56,265	1,750,845	3,006,980	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		-4,814,090	-56,265	-1,750,845	-3,006,980	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,180,660	0	1,024,820	155,840	
		退職給付引当資産取崩収入	1,180,660	0	1,024,820	155,840	退職者の神奈川県福利協会退職資産の取り崩し
		サービス区分間繰入金収入	2,500,000	2,500,000	0	0	法人本部の繰入
		その他の活動による収入	440,000	0	220,000	220,000	防災備蓄品倉庫使用物件敷金の返金
		その他の活動収入計 (7)	4,120,660	2,500,000	1,244,820	375,840	
	支出	投資有価証券取得支出	0	0			
		積立資産支出	4,038,000	0	1,959,000	2,079,000	
		退職金給付引当資産支出	4,038,000	0	1,959,000	2,079,000	神奈川県福利協会退職共済掛金事業主負担分
		サービス区分間繰入金支出	8,800,000	0	6,300,000	2,500,000	法人本部・保育所等訪問支援事業へ繰入
		その他の活動による支出	900,000	0	450,000	450,000	防災備蓄品倉庫使用物件の移転による支出
		その他の活動支出計 (8)	13,738,000	0	8,709,000	5,029,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		-9,617,340	2,500,000	-7,464,180	-4,653,160	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			13,203,893	555,177	4,426,991	8,221,725	収支差額 3.0% (6年度 6.18%)
前期末支払資金残高 (11)			202,068,933	16,952,461	84,506,816	100,609,656	
当期末支払資金残高 (10)+(11)			215,272,826	17,507,638	88,933,807	108,831,381	

合算　令和６年年度と令和７年度　資金収決算（概要）比較

資料1-1⑦

勘定科目			令和6年度合計	本部	第1松風園	第2松風園	令和7年度合計	本部	第1松風園	第2松風園	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	410,947,151	1,000,000	189,002,279	220,944,872	435,419,398	2,050,000	199,898,999	233,470,399	令和6年度 410,947,151円
		自立支援給付費収入	197,610,117	0	0	197,610,117	201,638,693	0	0	201,638,693	利用実績減による予算からの減。前年比2名増により157名利用増。(6年度197,610,117円)
		障害児施設給付費収入	137,277,582	0	137,277,582	0	138,576,655	0	138,576,655	0	前年比106名減による予算からの減。前年比中核的機能加算ⅢからⅡへの増による増。(6年度137,277,582円)
		利用者負担金収入	436,669	0	436,669	0	99,409	0	99,409	0	
		特定費用収入	6,500,011	0	2,182,950	4,317,061	6,639,650	0	2,274,100	4,365,550	
		その他の事業収入	69,122,772	1,000,000	49,105,078	19,017,694	88,464,991	2,050,000	58,948,835	27,466,156	
		補助金収入	1,222,772	0	605,078	617,694	3,164,991	600,000	1,348,835	1,216,156	神奈川県物価高騰対策/福祉人材確保・職場環境改善補助金
		受託収入	67,900,000	1,000,000	48,500,000	18,400,000	85,300,000	1,450,000	57,600,000	26,250,000	指定管理料
		その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(保険等査定減)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		経常経費寄附金収入	743,000	223,000	120,000	400,000	407,000	238,000	119,000	50,000	松風園まつりによる増・他家族会関係より
		受取利息配当金収入	1,088	0	753	335	54,286	1	27,915	26,370	
		その他の収入	11,353,248	6,477,290	1,888,689	2,987,269	5,367,519	247,160	2,123,721	2,996,638	
		受入研修費収入	183,500	0	110,500	73,000	201,500	0	127,500	74,000	実習生謝礼
		利用者等外給食費収入	4,319,790	1,650	1,765,625	2,552,515	4,422,570	660	1,983,640	2,438,270	職員の給食費収入
		雑収入	6,849,958	6,475,640	12,564	361,754	743,449	246,500	12,581	484,368	
		事業活動収入計 (1)	423,044,487	7,700,290	191,011,721	224,332,476	441,248,203	2,535,161	202,169,635	236,543,407	
	支出	役員報酬	716,147	716,147	0	0	842,594	842,594	0	0	
		人件費支出	298,661,985	33,410	132,423,471	166,205,104	322,633,768	53,456	143,643,420	178,936,892	人件費率74.1%(令和6年度72.7%)
		事業費支出	29,330,769	529,378	9,674,858	19,126,533	28,703,622	499,284	9,417,618	18,786,720	
		事務費支出	52,265,765	3,950,266	29,763,420	18,552,079	55,896,244	3,028,385	33,181,296	19,686,563	物価高騰等見込み増、支出削減による減
		その他の支出	5,522,583	0	2,208,947	3,313,636	5,403,056	0	2,285,285	3,117,771	利用者等外給食費食材費
		徴収不能額					133,596	0	0	133,596	
		事業活動支出計 (2)	386,497,249	5,229,201	174,070,696	207,197,352	413,612,880	4,423,719	188,527,619	220,661,542	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		36,547,238	2,471,089	16,941,025	17,135,124	27,635,323	-1,888,558	13,642,016	15,881,865	
施設整備等による収支	収入		0	0	0	0	0	0	0	0	
			0	0		0	0	0		0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出	固定資産取得費	138,270	0	138,270	0	3,253,197	0	1,068,361	2,184,836	
		建物附属設備取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	
		器具及び備品取得費支出	138,270	0	138,270	0	1,527,015	0	172,257	1,354,758	FAX交換・第2松風園安全カメラ設置(10台)
		長期前払費用取得支出					1,726,182	0	896,104	830,078	記録支援ソフト更新(5年分)
		ファイナンス・リース債務の返済支出	549,882	2,967	269,883	277,032	1,560,893	56,265	682,484	822,144	サーバー・PCのリース
		施設整備等支出計 (5)	138,270	2,967	408,153	277,032	4,814,090	56,265	1,750,845	3,006,980	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		-688,152	-2,967	-408,153	-277,032	-4,814,090	-56,265	-1,750,845	-3,006,980	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,378,670	0	217,210	1,161,460	1,180,660	0	1,024,820	155,840	
		退職給付引当資産取崩収入	1,378,670	0	217,210	1,161,460	1,180,660	0	1,024,820	155,840	退職者の神奈川県福利協会退職資産の取り崩し
		サービス区分間繰入金収入					2,500,000	2,500,000	0	0	法人本部の繰入
		その他の活動による収入					440,000	0	220,000	220,000	防災備蓄品倉庫使用物件敷金の返金
		その他の活動収入計 (7)	1,378,670	0	217,210	1,161,460	4,120,660	2,500,000	1,244,820	375,840	
	支出	投資有価証券取得支出		0				0			
		積立資産支出	3,845,750	0	1,829,350	2,016,400	4,038,000	0	1,959,000	2,079,000	
		退職金給付引当資産支出	3,845,750	0	1,829,350	2,016,400	4,038,000	0	1,959,000	2,079,000	神奈川県福利協会退職共済掛金事業主負担分
		サービス区分間繰入金支出	8,000,000	0	8,000,000	0	8,800,000	0	6,300,000	2,500,000	法人本部・保育所等訪問支援事業へ繰入
		その他の活動による支出					900,000	0	450,000	450,000	防災備蓄品倉庫使用物件の移転による支出
		その他の活動支出計 (8)	11,845,750	0	9,829,350	2,016,400	13,738,000	0	8,709,000	5,029,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		-10,467,080	0	-9,612,140	-854,940	-9,617,340	2,500,000	-7,464,180	-4,653,160	
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)			25,392,006	2,468,122	6,920,732	16,003,152	13,203,893	555,177	4,426,991	8,221,725	収支差額 3.0% (6年度 6.2%)
前期末支払資金残高 (11)			176,676,927	14,484,339	77,586,084	84,606,504	202,068,933	16,952,461	84,506,816	100,609,656	
当期末支払資金残高 (10)+(11)			202,068,933	16,952,461	84,506,816	100,609,656	215,272,826	17,507,638	88,933,807	108,831,381	